

語学に堪能なあの人は、どのようにしてその能力を身に付けたのだろうか？
彼らの学習法から自分に合った方法を見つけよう。

こうして語学を身に付けた あの人の学習法大公開

CHECK!

今月のテーマ

語彙増強法

今月の紹介者

河野太一（英語塾「河野塾」代表）

早稲田大学政治経済学部中退。半年間留学した以外は日本で英語を身に付けた国内派。主な資格にTOEIC満点、英検1級など。主な著書に「必ず覚えらるるTOEFLテスト英単語3400」（アルク刊）などがある。

私は高校時代まったく英語ができませんでした。野球ばかりやっていて、勉強自体を全くしなかった。定期試験直前になると不安になって単語集などを買うのですが、数ページで挫折の繰り返しでした。高3の秋になって「いよいよマズイ」と思った。遅過ぎですよ。でも、何かやらなければと。その時『英単語連想記憶術』が目に残りました。ゴロで覚える単語集。イラストも印象的でしたね。

この単語集をやるに当たってこう考えました。「オレは参考書を最後までやったことがない。覚えられるかどうかより、とにかくこの本を最後まで見てやろう」。実際は「見るだけ」というのも不安だったので、ゴロをノートに2回書き写すことにしまし

た。覚えることは一切意識せず、書くだけ。途中でやめたくなかったけど、最後まで何とかやって、巻末の索引でテストしてみました。案の定ほとんど覚えていない。20単語に1つぐらい見覚えがあるという程度。そこでもう1度最初からやってみた。再びテストすると、今度は10個ぐらい新しく覚えたものがある。このたった10個が当時の私には画期的でした。1回で10個覚えらるるなら、この本（第1集）の700単語ぐらいは100回も繰り返せば覚えらるるんじゃないか、と。

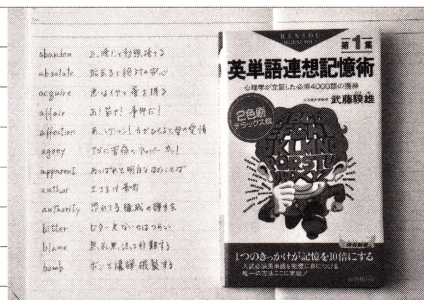
3回目以降は読むだけにしました。最後まで目を通して、索引でテスト。10回目で約半分覚えていた。残りの半分にもう10回ほど費やし、計20回で完全につぶしました。第2集の途中で入試を迎えてしまい、すべて不合格。しかしその春のうちに全3集の学習を終えました。

すると、なんと代々木ゼミナールの私立文系トップのクラスに合格してしまったんです。まだ文法など学習する前です。単語がいかに大事かを実感しました。

この単語学習を通して、私は重要なことを学びました。学習

が停滞したら「笑っちゃうぐらい低い」目標を設けて、とにかくやってみること。そして、繰り返し学習することの効果です。また、私の場合は、ゴロが大変な助けになりました。単語は「入れる」だけでは駄目で、その意味をすぐに「出す」必要がある。意識の底に沈もうとする記憶を、ゴロが引っ張り上げてくれる感じでしたね。

これから英語を学習する人に私が言いたいのは、とにかく単語を覚えてしまえば楽だということ。その後の学習効率が全然違ってきます。2回や3回で覚えられないと嘆く必要はない。20回でも100回でも繰り返せばいいんです。苦手な人は、ゴロや語源など「頭に引っかかる要素」の助けを借りるといいですね。



「英単語連想記憶術 第1集」（青春出版社刊。1155円）。ユニークなゴロで単語を覚える学習法で、ロングセラーとなっている

「WEBアルコムワールド」ではあなたの学習法を大募集!

河野先生の学習法を試してみた方やこの学習法に対するご意見もどしどし書き込んでください。

<http://alcom.alc.co.jp/>